

# エパタ

## 第105号

そこで、イエスは、その人だけを群衆の中から連れ出し、その両耳に指を差し入れ、それからつばきををして、その人の舌にさわられた。そして、天を見上げ、深く嘆息して、その人に「エパタ。」すなわち、「開け。」と言われた。すると彼の耳が開き、舌のもつれもすぐに解け、はっきりと話せるようになった。(マルコ7:33-35)

発行/日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団  
ろう者伝道部

〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20  
TEL 03-3918-5935

発行者 井桁正巳  
編集者 五島靖子  
タイトルバック写真 山中和明

## あなたはどこにいるのか

創世記三章六節〜十節

神である主は、人に呼びかけ、彼に仰せられた。

「あなたは、どこにいるのか。」(創世記三章九節)

九節で「あなたは、どこにいるのか」と神が言われたのですが、神は、優しく、憐れみ深く、心配して「あなたは、どこにいるのか」と言われたのです。神と人間との関係が離れてしまっただけです。交わりが出来なくなっただけで心配した神様は、「あなたは、どこにいるのか」と声をかけて捜し出しました。

彼は答えた。「私は園で、あなたの声を聞きました。それで私は裸なので、恐れて、隠れました。」(創世記三章十節)

小さな子供のようにな裸である事が、何の抵抗もなかった二人は、急に体を見られて恥ずかしくなりました。体だけではなく、心も罪を犯したため、恥ずかしくなりました。自分たちの悪意の心を恥じ、神様から見られないように、隠れました。神に言われた事を、守らなかったため、恐れました。神の言う事を聞かなかったため、不安が来て恐れてしまったのです。

二人は隠れましたが、昔も今の時代も、罪を犯したら、それを隠します。神はもう一度、アダムとエバとの交わりを回復するために、罪を犯したアダムとエバを赦しました。

神である主は、アダムとその妻のために、皮の衣を作り、着せてくださった。(創世記三章二節)

裸になったアダムとエバに、皮を使うには、動物の命を殺し、犠牲が必要です。これは代価が払われて、神の前に立つ事が出来る事を、現わしています。二千年前、苦しんでいる人を「あなたは、どこにいるのか」と、捜し出すた



阿南神召キリスト教会 伝道師

古川 忠志

めに、イエス・キリストがお生まれになりました。実は神ですが、人の子として世に遣わされたのです。目的は、罪の問題を解決し、神との交わりを回復するためでした。「あなたは、どこにいるのか」と人々を捜すために来られたのです。イエス様は弟子たちと一緒に、聖書を教え、共に暮らし、最後に苦しみを受け、十字架にかかって死に、三日目によみがえり、弟子たちと、四十日間一緒に交わり、その後、天に上げられました。

「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。」(使徒一章八節)

目的は、世界の人々に福音を宣べ伝えるためです。百二十人の弟子と一緒に祈り始め、父の約束を受け、異言を語り出しました。聖霊様により力強く励まされて福音を伝え始めたのです。ペテロが福音を伝えようと、すぐ三千〜五千人が救われました。パウロが異邦人のために伝道旅行に行き、多くの人々が救われました。ペテロとパウロの目的は「あなたは、どこにいるのか」と罪人を捜し出して、救いを伝える事でした。エルサレム、ユダヤ、サマリヤ、地の果てまで、そして、日本にまで救いが伝えられました。人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。(ルカ一九章十節)

自分だけが救われた喜びに満足するのではなく、神を知らない人々を、「あなたは、どこにいるのか」と捜し出して福音を伝えましょう。まず聖霊の力を求めましょう。一致、そして前進し、二人で一人を導いていきましょう。

### 全国ろう者聖会

ろう者伝道部長

井桁 正巳

主の御名を賛美いたします！  
 今年の全国ろう者聖会は、新型コロナウイルス第7波の感染拡大、政府から「BA.5対策強化宣言の新設」が発表されたことを受けて、参加者の皆様の健康と安全を考慮して、対面開催を中止し、8月11日（木・祝）のみオンラインで開催いたしました。

聖会の特別講師として、ろう者伝道師の古川忠志先生、加藤雅美先生のお二人でした。みことばに基づき、参加者一同にとって本当に必要なメッセージを取り次いでいただき心より感謝いたします。

急な変更でしたが、オンライン操作の奉仕をしてくださった小岩ろう栄光キリスト教会、聖会Iを担当してくださった徳島神召キリスト教会、聖会IIを担当してくださった名古屋神召キリスト教会の先生方、また兄弟

方に感謝いたします。本当にありがとうございました。

今回のオンライン聖会の参加教会は17教会。参加人数159人でした。

また、席上献金281、684円、協力献金166、000円の尊いおささげものを感謝いたします。席上献金と協力献金は、オンライン聖会の費用と、聖会場としてお借りしていた香川県のホテルのキャンセル料の支払いに用いさせていただきます。

すべての栄光を主に返しいたします。



### 徳島神召キリスト教会

田中 憲二

主の御名をあげます。

今年の夏全国ろう者聖会が2019年の夏全国ろう者聖会が2019年の聖会から三年振りの対面聖会ができるのを楽しみに期待して四国担当の皆で準備してきた矢先に、コロナ感染の再急拡大により、対面が中止となり昨年に続いて二回目のオンライン聖会となってしまいました。全国の牧師先生方、兄弟の方々の御協力を頂き、お蔭様で直前の準備ができました。このようにして、コロナ禍で大変な中でも、主が聖会を守り導いて頂いて嬉しく思いました。

ろう者伝道師で今回初めての古川忠志師、加藤雅美師の説教の手話も文字も大変わかりやすく感動しました。手話劇も画面越しでも各教会の兄弟の方々の顔が見えなくて劇の内容が伝わったのかと気にしておりました。



したが、後日、県外の兄弟の方々から、「劇がとても面白くて良かった」とメッセージをいただき今後の励みとなりました。

又御言葉も

「あなたはどこにいるのか」創世記3章6〜10（古川忠志師テーマ）を受けとめる事ができ参考になりました。よかったです。

人は天と地とを創造されたイエス様は羊飼いのように一人一人覚えて祈っておられますね。どこにいるのかと直ぐにこたえるようにがんばります。

神様に感謝しております。

主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というの、わたしの力は、弱さのうちに完全に現われるからである。」と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおいため、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。（Ⅱコリント12章9節）



## 小岩栄光キリスト教会に おけるろう者伝道の歩み

小岩栄光キリスト教会

牧師 安間 正道

小岩栄光キリスト教会(以下小岩教会)は2024年に創立70周年を迎えます。ペティゴ宣教師によるラジオ伝道から宣教が始まり、1954年に最初の受洗者が与えられ、この年から教会としての歩みが始まりました。1957年からは吉山宏牧師により約60年に亘る伝道・牧会の働きによって、多くのろう者の方々が集う教会となりました。小岩教会の中に小岩ろう栄光キリスト教会として独自の組織や会計、執事・役員を立てています。ろう者によるろう者伝道を進めてきました。今年2022年はろう教会の創立50周年を迎えました。これまでの恵みとあわれみに心から主の御名をあげます。

ろう者聖書学校を卒業した中

村崇師は当教会のろう教会担当牧師として、また、金井扶美代師はろう教会の伝道師として仕えています。中村師はろう教会の執事会をまとめ、礼拝での説教奉仕や信徒のケアをしています。高齢者が多くなったため、日頃からの信徒のフォローアップは欠かせないものとなっています。金井師はマリア会(女性の会)や祈禱部の働きをします。今年5月に1組のろう者のご夫妻が洗礼を受けられました。私たちの教会にとって大きな喜びとなりました。

小岩でのろう者伝道の働きは①YouTube動画の配信(毎週の聖日礼拝やクリスマス伝道集会など)、②手話べり会(聴者と手話を学ぶ会)約10名の未信者が参加)を行っています。その他、地域の手話講習会の講師、ろう学校での繋がりによって新来者が来会しています。

またコロナ禍で始まったのは、「デイリーブレッド手話版」や日本CGNTV(クリスチャン・グローバル・ネットワーク・テレビジョン)による手話メッセージ

の配信に小岩教会が関わっています。これは現代版のデボーションガイドであり、伝道用トランクトと言えらると思います。

教会の地域にろう者がどの位いるのか把握はしていません。

また、若いう者とのつながりを作るのに苦労しています。ろう者だからということが集まることはなかなかありません。むしろ聴者の中で一緒にやることが多いように感じます。またろう者の家庭に育った子弟との関りも必要だと思えます。これからの課題でもあり、可能性はろう者と聴者が協力してあらゆる世代、あらゆる境遇にある人々に伝道していくことだと思いま



5月ろう者2名の洗礼式



9月創立50周年記念会の集合写真

す。それぞれの地域性や教会の状況もあると思います。今年の教団の標語のように「一致そして前進」し続けてまいりましょう!



小岩のろう者のYouTubeチャンネル

2023年予定

★信徒聖書学校★

- ・日程 2023年2月10日(金)～11日(土)
- ・講師 中原信恵師 ・会場 国際障害者交流センター

★手話クラス

- ・日程 2023年2月23日(木)
- ・会場 CBC (9月もオンラインで開催予定)

★2023年ろう者聖会

- ・日程 2023年8月9日(水)～11日(金)
- ・講師 中村崇師(小岩)・中村宣子師(岡山)
- ・会場 御影教会とオンライン

★2023年世界アッセンブリーろう者大会

- ・日程 10月4日(水)～11日(水)
- ・場所 バルセロナ

★ろう者聖書学校入学者募集中★

QRコードを読み取って動画をご覧ください

郡美矢師  
挨拶



手話リレー  
メッセージ



「永遠の愛」

重松 富久子 (松山神愛キリスト教会)

共に主の道を歩む ②

生武和子



一人のろう者との出会いを通して手話通訳者として導かれ、より分かりやすく通訳できるようにと今日まで研鑽を重ねてまいりました。以前、関西教区の手話講習会で講師をしてくださった米川明彦先生監修の「日本語 手話辞典」は今も時々参考にしています。教団ろう者伝道部発行の「キリスト教手話用語集」はキリスト教用語や聖書の御言葉、主の祈りなどが掲載されており、とても役立つています。随分前のことになりますが、姫路市主催の手話講習を受けた時、講師が「手話はキャンバスに一枚の絵を描くように表わすこと」と説明してくれました。「話の内容が見てわかるように左右、上下の位置関係を意識して手話を行うこと」「草は土から生えるのだから手話をする時は下の位置で、太陽は空で照るのだから上の位置で表現すること」。このことは手話通訳をする上で大切な要素だと教えられました。さらに、その講師はクリスマスで、講義をする前に短く頭を下げて祈っているように見え

ました。手話が上手くなることも大切ですが、手話を通して主に用いられるということがどれほど大きな恵みであるかをその姿を通して教えられました。手話通訳には「御言葉を読むこと」と「祈ること」が何よりも大切です。神のメッセージを通訳するのですから、通訳者がまず聖書をよく読み、御言葉に養われ、よく祈るのでなければなりません。また、通訳者は受ける恵みにも与ります。ろう者が真剣な表情でメッセージを受け取り、アーメンと応える姿が大きな励ましとなり、通訳を続ける原動力となります。ろう者も手話通訳者も互いに向き合うのではなく、同じ方向に向かって歩んでいます。手話通訳を通してろう者と共に心を合わせ、祈りを合わせ、力を合わせ、共に信仰の道を歩んでいけることが何より大きな喜びではないでしょうか。「主にあつて受けた務めを注意してよく果たすように」

コロサイ4章17節(新共同訳)